

市民が誇る「知の拠点」へ

# 新図書館に 2日間で1万人



4月1日、武雄市図書館・歴史資料館がリニューアルオープンの日を迎えました。  
当日は、オープニングセレモニーが行われ、武雄市の樋渡啓祐市長、杉原豊喜市議会議長、カルチユア・コンビニエンス・クラブ(CCC)の増田宗昭社長によるテープカットの後、御船が丘小学校の新2年生が風船を空に放ち、式典に華を添えました。

▲Library&Cafeのコンセプトでリニューアルした新図書館。「知の拠点」のロールモデルとして期待されます。



▲(右から)CCCの増田宗昭社長・武雄市の樋渡啓祐市長・杉原豊喜市議会議長が記念のテープカットを行いました。

## あふれる喜びの顔

新図書館は年中無休で、開館時間は午前9時から午後9時まで。開架の蔵書は従来の2倍の20万冊以上に増え、「旅行」「料理」といったテーマ別に分けると、利用者目線で利便性を大幅に向上させています。  
館内では「スターバックスコーヒー」で販売する飲料を閲覧室に持ち込む事もでき(一部飲料を除く)、さつそく「ライブラリー&カフェ」の新スタイルを楽しむ来館者の姿が多く見られました。



▲1万人目の来館者は多久市の白木晴美さん。本が大好きな息子さんと一緒に来館でした。

初日は、従来の一日平均の約6倍となる5517人が訪れ、2日目の午後8時には累計1万人を突破。一人目の来館者には、15代中里茂右衛門先生作の白磁香炉と図書館オリジナルTシャツが記念に贈られました。  
新図書館のオープンに際し、樋渡市長は「武雄市民が誇りに思えるような図書館にしていきたい。」と述べました。

今後は、著名講師をお招きしての講演会など、さまざまなイベントも予定されています。ぜひ武雄市図書館・歴史資料館にお越しください。

市議会 3月定例会

# 25年度予算案を可決

## いずれも原案どおり

武雄市議会3月定例会は3月4日から3月27日までの24日間の会期で開かれ、市長提出議案43件のほか、意見書など、計45議案が審議されました。  
また、一般質問は16名の議員から59項目の通告により4日間の日程で行われました。

### ◆意見書

「北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書」「TPP協定交渉参加表明に関し国益が守れぬ場合は即時脱退を要求する意見書」を原案どおり可決。

いずれも内閣総理大臣をはじめとする関係者宛に送付されました。

### ◆人事案件

教育委員会委員に 諸石洋之助氏(東川登町) 固定資産評価審査委員会委員に 川内野英夫氏(北方町) 人権擁護委員候補者に 淵きよ子氏(西川登町) がそれぞれ選任、同意されました。

### ◆予算議案

平成25年度の一般会計、特別会計、企業会計の各当初予算を原案どおり可決。

平成24年度一般会計の第11回・第12回補正予算と、平成25年度一般会計の第1回・第2回補正予算を原案どおり可決。

※詳しくは、武雄市役所ホームページをご覧ください。

<http://www.facebook.com/takeocity>